昭和十七年

庶務一件

染織講社

4-5　庶務一件　　昭和17年

拝啓益御清栄之被為渉
奉賀祭候陳者當行儀以御蔭
業況日増之隆盛之赴向之如
諫之難有感銘の至之御座候
偖而本日之定期預金御残積
最大篤之御穏中之御取引之
就ては精々留意致居候得共
尚御案付之点心之何毎御教示
賜り度今後共一層御引立の程
奉希上候
先ては略儀以書中御礼寿
御挨拶申上度如此御座候
敬白

昭和十七年一月三十日

三井銀行京都支店
支店長
樽喜門

染織講社
理事長
山崎隆義殿

理事長
常務理事

辭任届

今般都合ニ依リ株式會社吉田忠商店ヲ退社仕リ候ニ就テハ之ニ伴ヒ染織構社[redacted]理事ヲ辭任仕リ候條此段御届申上候

昭和拾七年壹月六日

京都市中京區室町通四條北入
株式會社吉田忠商店
岩村史朗

染織構社
理事長殿

4-5 庶務一件　昭和17年

拜啓愈御清榮奉慶賀候每々格別の御引立を蒙り難有厚く
御禮申上候陳者豫て御預け相願ひ居り候定期御預金の義
來る一月廿一日期日と相成候に付ては引續き御預け入
れの程特に御配慮願上度尚此際多少に不拘御增額被下候
はゞ幸甚の至りに奉存候
右御通知旁御依賴申上度如斯御座候　敬具
昭和 昭和拾七年壹月拾參日 年 月 日

株式會社 三菱銀行京都支店
支店長 千金良宗三郎

染織講社 殿

4-5 庶務一件　昭和17年

講社員募集委員打合事項

昭和十七年度講社員募集ノ件

報告事項

一、祭典　四月十一日午前十時

二、祭場　市勸業館内ノ豫定

若シ同館支障ノ場合ニハ前年通リ市公會堂構内

三、講社員ニ記念品トシテ淺見五郎助作江戸初期小町踊繪ノ菓子皿（五枚）ト御供物贈呈

四、午前十一時ヨリ神前ニ於テ小町踊奉納（祇園新地乙部藝妓）

一月十六日午后四時
事都市二月

昭和十七年度個人講社員

組合名	十七年割當數	參考 十六年實績
京都織物卸問屋同業組合 染呉服部	三八五	五二六
〃 西陣織物部	二〇〇	三二一
京都生絹縮緬卸商業組合	五〇	三二
京都人絹白生地卸商業組合		
京都織物卸問屋同業組合 綿織物部	四〇	五九
〃 半襟部	三〇	三〇
關東織物卸商業組合	五〇	五九
西陣織物工業組合	一三〇	一五一
西陣着尺織物工業組合	五〇	五〇
京都洋傘ショール卸商業組合	三三	三〇
京都洋反物商組合		
京都染物同業組合	三〇	二五
講社直接勧誘	二	四
計	一、〇〇〇	一、二八七

4-5 庶務一件 昭和17年

1 津呉服卸商業組合

2 西陣着尺卸商業組合 寄二年下ル

2 西陣帯地卸商業組合

3 京都生絹絹面卸商業組合 在册二年上ル

3 京都人絹白生地卸商業組合

4、京都綿織物商業組合 [illegible]

5 京都半襟卸商業組合 [illegible]

6 関東織物卸商業組合

昭和　年　月　日決裁
昭和　年　月　日發行
淨寫者
校合者
昭和七年一月七日起案
起案者
會長
副會長
理事長 代
常任理事
理事
幹事

伯人講社員募集委員会兼催一件

年　月　日

理事長

募集委員宛

お願い益々御清栄を賀し陳は本講社事業の実しては毎に多大の御援助を賜り至深謝

本講社も御陰を以て社礎愈々堅実とお祈り奉

御同慶の至りに存奉候。本年度挙行の

染織祭は来る四月十日と決定致し時代衣裳行列

は皇紀の現状に鑑し中止し其の代行として少所踊を神

前に於て奉納獻勝祈願を致すことに相成奉候

下其準備中に有之候就ては伯人講社員募集

其の他に関し御依頼旁御協議申上候事

御多忙中に御迷惑来る一月十六日午後五時

京都ホテル迄御足労を煩し度此段御依頼

申上候

敬具

4-5 庶務一件 昭和17年

講社員募集委員

室町佛光寺上ル　株式会社市田商店　高橋佐太郎
室町四条南　〃　羽田商店　羽田廣二
室町蛸薬師南　〃　細田商店　和田卯一郎
東洞院六角南　外村與左衛門商店　小杉伊三助
室町五条東入　株式会社大橋彌一郎商店　大橋常次郎
室町高辻北入　奥井平治郎商店　奥井平治郎
東洞院六角南　株式会社渡邊郁二商店　佐野宝三郎
蛸薬師烏丸西　渡邊長商店　河野與助
三条堺町西　合資会社加中平商店　田中平兵衛
烏丸佛光寺北　株式会社堀尭商店　村田光太郎
不明門松原南　株式会社上田勘商店　小谷英造

染織講社

室町二条南　株式会社天代仁商店　湯淺和之助
烏丸四条下ル
室町四条下ル　株式会社安藤商店　円城留二郎
室町綾小路角　株式会社荒川益次郎商店　山石佐有彩
室町四条下ル　株式会社島瀬商店　須田盛三
室町高辻角　株式会社田中久商店　田中吉次郎
六角室町西　株式会社美濃利商店　佐藤時次郎
室町佛光寺上ル　株式会社市田商店　山川乙次郎
今出川大宮東入　西陣織物工業組合　小西辨次郎
今出川淨福寺　西陣着尺織物工業組合　北川給次郎
四条烏丸角　京都織物卸同屋同業組合　小林美樹雄
四条西洞院角　京都染物同業組合　小倉良三助
烏丸四条下ル　株式会社丸紅商店　中村周三

三島株式会社京都支店

日本標準規格 B4（257×364mm）

4-5　庶務一件　昭和17年

宝所 四条小 下ル
雨洞院高辻
株式会社安藤商店　梶田松太郎

宝所 四条小 上ル
株式会社吉田忠商店　中島義一

烏丸 四条 下ル
株式会社三 [illegible]
[illegible]
塚本喜造

宝所 四条 下ル
株式会社安藤商店　高清和三郎

烏丸通 錦小路上ル
[illegible]
組合
河中ニーコル店様
北川隆三
加義宗右衛

28

昭和十七年一月二十二日決裁
昭和十七年一月十九日起案
昭和十七年一月二十二日發行
淨寫者
校合者
起案者
會長
副會長
理事長 代
常任理事
理事
幹事

染織祭典ニ関スル件

年 月十九日

会長

京都府神職会長（府学務部長和田寛）
揮啓愈御清掃手慶賀ニ除は本
講社主催染織祭左記ノ通決定致矣
曰或典ニ関する件事ニ尤会ニ御一任
致度矣曰例年通宜敷御手配相煩
しかし如段御依頼申上ニ敬具

記

昭和十七年四月十一日午前十時 岡崎市勧業館
内

祭典 四月十一日午前十時
少所踊奉納 今日午前十一時
追而或典ニ要スル費用ハ前年通ニ御承知頭
与ヘ当又染織祭ニ先セテ戦勝祈願ヲ致度ニ為ニ齋主ノ祝詞
中ニ戦勝祈願御加へ上下ニ保御元平一頭与ヘ

昭和　年　月　日決裁
昭和　年　月　日發行
浄寫者
校合者

昭和十七年一月廿七日起案
起案者

會長
副會長

理事長
代

常任理事
理事

幹事

理事嘱託ノ件

年　月　日

原織講社会長
京都市長　名

佐野金之郎　宛
（東西院大角下ル　浜辺郁二商店）

相談ニ御清掃身賛陳右無之本

講社事業ニ関シテ御多大ノ御援助を
辱シ手深謝ニ就テハ今回別紙
規約第九条ニ現ニ依リ理事ニ御嘱託
申上ニ至ニ夫日何卒不在変御援助
の程希上ニ
在御依頼旁得失意ニ　敬具

辞令案

本講社理事ニ御嘱託申上ニ也

年　月　日　会長

宛

稟議用紙　染織講社

4-5　庶務一件　昭和17年

昭和　年　月　日決裁

昭和十七年一月廿四日起案

昭和　年　月　日發行

淨寫者

校合者

會長

副會長

理事長　代

常任理事

理事

幹事

起案者

式典委員会兼催一件

年　月　日

会　手

式典委員宛

拝啓来る四月十日挙行の染織条

一件ニ付御打合中上ニ有之候御多忙

中ニ付御迷惑ニ来る二月四日午后一時岡崎公園

市商品陳列館二階会議室迄御足

労を煩し度此段及御通知申上候

敬具

稟議用紙　染織講社

4-5　庶務一件　昭和17年

昭和　年　月　日決裁

昭和　年　月　日發行

淨寫者

校合者

昭和十七年一月二十四日起案

起案者

會長 ／

副會長

理事長 代

常任理事

理事

幹事

式典委員嘱託ノ件

年　月　日

会長

殿

拝啓愈々御清穆奉賀候陳は来る四月十五日別紙通市岡崎公園市勧業館内に於て染織祭を典し執行可致候に就ては貴下を式典委員長（式典委員）に御嘱託申上候間御承引被下度尚御承諾之上諸事御援助賜り度此段御依頼申上候　敬具

追而式典ニ関シテハ追テ神祭会も御一任致置候間御承知置相成度

稟議用紙　一宮染織講社

4-5　庶務一件　昭和17年

或典委員長

〃 委員

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

府參務部長 和田寛

府社事課長 田村義雄

府社事課長 戸根貞治

加茶法祖神社宮司 神尾清澄

吉田神社宮司 二宮正彰

北野神社宮司 朽平靜

眞幡寸神社 鳥羽重節

宗像神社 高屋定由

下河盛神社 出雲路敬豊

岡崎神社 本田光三助

府神務局 市村勝茂

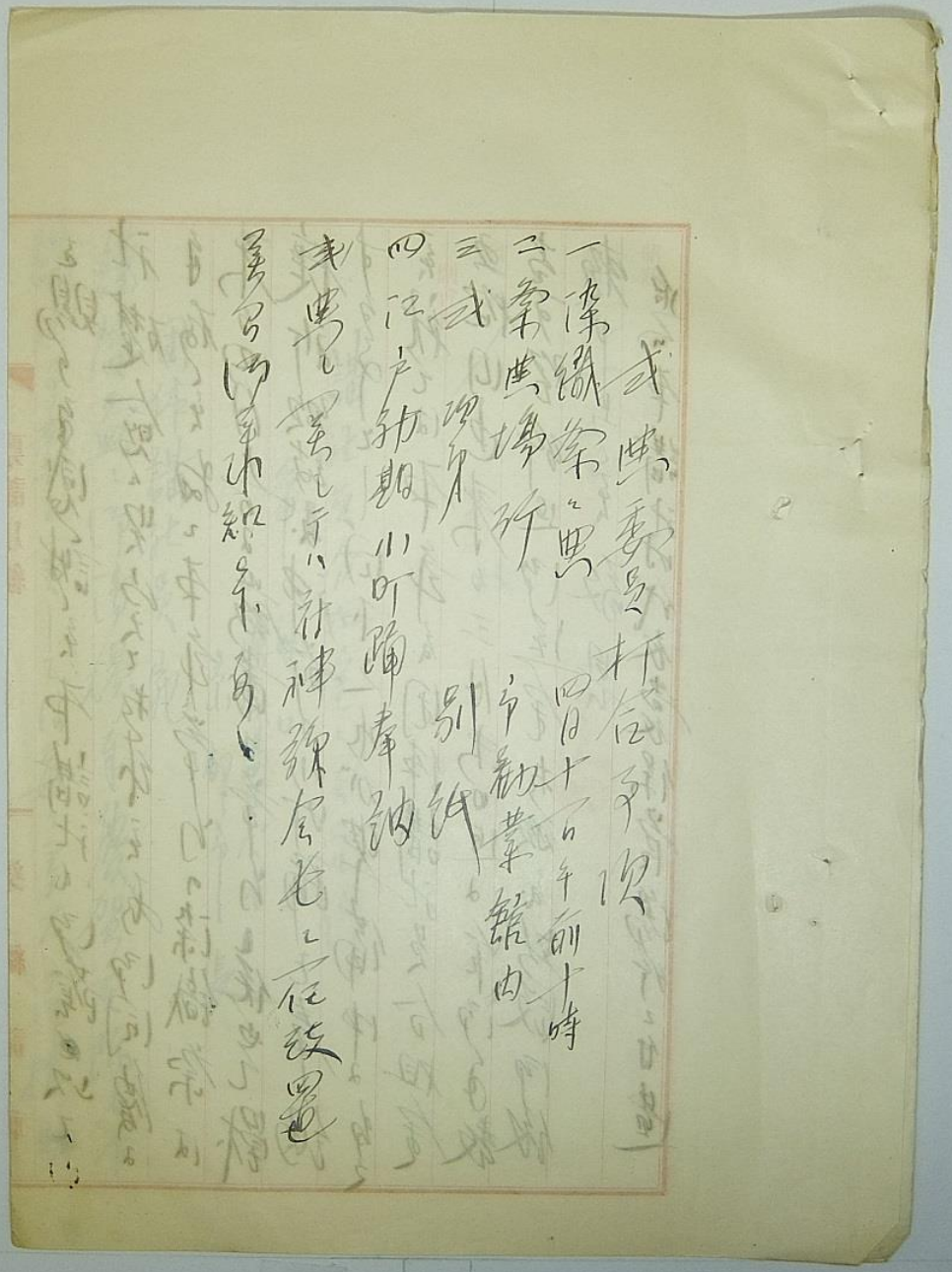
4-5 庶務一件 昭和17年

染織祭式次第

四月十一日　午前十時

午前十時祭主以下參列者着席
次　齋主齋員着席
次　修祓
次　降神　一同起立　管弦　此間奏樂
次　神饌ヲ供ス
次　幣物ヲ供ス
次　齋主祝詞ヲ奏ス　一同起立
次　祭主祭詞ヲ奏ス　一同起立
次　齋主玉串ヲ奉リテ拜禮
次　齋員拜禮
次　祭主玉串ヲ奉リテ拜禮
次　京都府知事玉串ヲ奉リテ拜禮
次　京都市長玉串ヲ奉リテ拜禮
次　京都商工會議所會頭玉串ヲ奉リテ拜禮
次　染織講社理事長玉串ヲ奉リテ拜禮
次　染織講社評議員代表玉串ヲ奉リテ拜禮
次　式典委員長玉串ヲ奉リテ拜禮
次　祭事委員長玉串ヲ奉リテ拜禮
次　來賓玉串ヲ奉リテ拜禮
次　參加各團體代表者玉串ヲ奉リテ拜禮　此間奏樂
次　神饌ヲ撤ス
次　幣物ヲ撤ス
次　昇神　一同起立　管弦
次　諸員退下

4-5　庶務一件　昭和17年



或典委員打合事項

一 染織祭々典　四月十日午前十時

二 祭典場所　市勸業館内

三 或　四月　別紙

四 江戸初期小町踊奉納

或典ニ関シテハ社神殿会也ニ在致置

美日河来和紀年事ニ

4-5　庶務一件　昭和17年

昭和　年　月　日決裁

昭和十七年一月廿九日發行

淨寫者

校合者

昭和十七年一月十七日起案

起案者

會長

副會長

理事長

常任理事

理事

幹事

伯人講社員募集依頼件

御願益々御清榮年慶賀之際者本講社事業に関しては毎々多大の御援助を賜り年深謝之以御蔭を本講社も社礎愈々堅実と相成之如御同慶の至りに存之物々本年之事如何の

稟議用紙

染織講社

染織祭は来る四月十一日に厳粛に挙行候せて財[illegible]祈願致し神前に於て少叮踊を奉納致すことに相成之同下其準備中に有之候就ては真に御迷惑の事と存之其本講社の趣旨御賛同年下例年通り講社員として特別の御援助を仰ぎ之右御依頼申上之敬具

年　月　日

染織講社会長

京都市長

昭和十七年一月廿六日

石川縣小松市京町六八番地

小松内地向絹人絹織物工業組合

電話番號變更方ノ件通知

當組合使用ノ電話番號ハ一月廿六日ヨリ左記ニ變更致候條此段及通知候也

記

六九〇番（代表番號）

4-5　庶務一件　　昭和17年

陣事七

常任理事

主事

京都市今出川通大宮東入
電話代表西陣(4)三二〇番

發西工第二〇二五號
昭和十七年一月二十六日

西陣織物工業組合

染織講社
會長 加賀谷朝藏 殿

拜啓 時下益々御清榮之段奉大賀候
陳者昨年八月京都府下織物工業組合整理統合以來本組合理事長
缺員中ニ有之候處今般左ノ通理事長ヲ選任ヲ了シ候條御了知相
成度此段及御屆候也

記

一 西陣織物工業組合理事長

理事 大橋理祐

西陣織物工業組合

4-5 庶務一件 昭和17年

昭和年　月　日

京都市東山區今熊野日吉町太閤坦下

大日本神祇會京都府支部

電話祇園(6)八〇〇番

振替口座京都四二六九番

常任理事

昭和十七年二月十四日

大日本神祇會京都府支部

梁纖講社會長加賀谷朝藏殿

梁纖祭式典執行ニ関スル回答件

客月二十日付ヲ以テ来ル四月十日午前十時岡崎市勸業館内ニ於テ梁纖祭挙行ニ付式典一切御依頼ノ件拝承仕候條御承知相成度此段及御回答候也

大日本神祇會京都府支部

昭和 年 月 拾六日決裁	昭和十七年二月十六日起案	會長	理事長	理事	庶務	會計
昭和 年 月 日發行	起案者	/	代			
淨寫者						
校合者						

蚕農保管倉庫事務所ノ件

年月日

理事長

理事長 殿

拝啓 御高配ヲ蒙リ 奉謝候
陳者 蚕農倉庫事業ニ付
一応御覧置相成度候間御来臨下度
来ル二月二十二日午前十時 市ト商工
会館別館二階応接室迄御足労煩シ
度 此段御通知申上候 敬具

追テ 右当日御出席ノ有無折返シ御報知相成度

理事 山崎 隆義　赤堀 精一
理事 大橋 理祐　山川 乙次郎
田端 留三郎　伊藤 友吉郎
佐藤 豊五郎　渡辺 清太郎
吉川 順吉

外 三橋営繕部長ノ出席ヲ乞フ

稟議用紙 — 染織講社

日本標準規格B4(257×364mm)

4-5 庶務一件　昭和17年

昭和　年　月　日決裁

昭和十七年二月十九日起案

昭和　年　月　日發行

淨寫者

校合者

會長

副會長

理事長　代

常任理事

理事

幹事

起案者

衣當衣倉庫落成記念品贈呈ノ件

右敬ハ愈御清穆年賀ニ際ハ本講

社時代衣當衣保管倉庫建築中の

知今般落成ニ至ル就ては一応御案内

御上告ニ至ル是同下ハ時局御多端ニ折

柄御来感ニ存ニ差控ヘ至ル宜敷御

承知ニ下ニ至本日別便を以て粗品記

念の事ニ迄ニ贈ロモ中上ニ至ル旨御芳納

ニ申下ニ至ル　敬具

年　月　日

会長

施

産業委員（生谷滝之助、内山廣三、石田芳之助、川橋豊治郎、山村直之助、北尾市吉乗、小山滝之助）

所上副会長

稟議用紙　染織講社

4-5　庶務一件　昭和17年

昭和　年　月　日決裁

昭和　年　月　日發行

淨寫者

校合者

昭和十七年二月廿日起案

起案者

會長

理事長

常任理事

庶務

會計

衣裳保管倉庫落成記念品

ノ件伺

本講社衣裳保管倉庫建築中ノ如

今回落成ニ就テハ建設ニ関シ援助ヲ賜

リタル各位并ニ工事関係者ニ對シ披露宴ノ

代リトシテ左記諸氏ニ御ノ記念品贈呈

致度此段仰裁ニ至ル

一

稟議用紙

染織講社

日本標準規格B4(257×364mm)

4-5　庶務一件　　昭和17年

甲

記念品贈呈者

（会長）加賀谷市長
　　　　隠野助役
（理事長）山崎助役
市産業委員七名
　生井亀之助
　内山広三
　石田芳之助
　川橋豊治郎
　山村直之郎
　北尾半兵衛
　小山滝之助
金沢織物会頭（本講社副会長）竹上藤次郎
講社理事　山川乙次郎
〃　圓増留吉郎
〃　伊藤太一郎
〃　佐野竜三郎
〃　大橋理祐
〃　吉水順孝
〃　渡辺清太郎
常任理事　精岡博
営繕部長　三橋和太郎
秘書課長　大倉重義
財務部長　原秋米太郎
財務課長　岸[illegible]退三
市会書記長　揖野荒助

一染織講社

日本標準規格 B4 （257×364mm）

4-5　庶務一件　　昭和17年

大西右郎并尺

会議所理事西沢

〃 勝野郎也 菱森唐子郎

前常任理事 小泉 熙

前商工課也 中村隆太郎

講社主事 伊田利信

嘱託書記 賀沢清

外〻年来講社事務〻異〻応播セル者〻對スル分

拾二名

以四拾弐名

4-5 庶務一件 昭和17年

市長
陳御
山崎

15円位(モノ)

斗四十五円

財務部七、
秘書課七、
産業委員七名

[illegible]書記七、財務課七、
以上十円位ノモノ

斗十八名

斗180円

577円

朵戦講士

4-5 庶務一件 昭和17年

急

昭和 年 月 日決裁	昭和十七年三月六日發行	淨寫者	校合者
昭和十七年三月五日起案	起案者		

會長 副會長

理事長 代

常任理事 理事

幹事

新団体講社員募集ノ件

年 月 日

染織講社会長
京都市 長

先

拝啓本年一月二十三日付ヲ以テ本講社団体講社員トシテ御援助相願申上候ニ就テハ定メシ御

稟議用紙

染織講社

兼諾ヲ下ニ兼ヌトハ存ニ今ニ講社員トシテノ申込ニ御送付無之御多忙中ニ恐縮至急御送付ヲ煩シ家室ヲテ御依頼申上候敬具

昭和 年 月 日決裁	昭和十七年 月廿二日發行	淨寫者	校合者
昭和十七年 月十九日起案	起案者		

會長 副會長

理事長 代

常任理事 理事

幹事

新国体講社員募集ノ件

年 月十九日

染織講社会長

京都市長

宛（別記）

謹啓愈御清穆の好事慶賀陳者本講社は

稟議用紙

染織講社

別紙起意書の下に昭和六年二月組織し再来毎年陽春の季をトし本市岡崎公園に於て祭典を挙ひし其の附帯ゆるとして時代婦人衣裳ゆ列を行ひ神前に詣じ舞踊を奉納し来り実知可変以降右ゆ列を中止し其代ゆとして適当の時期に右衣裳の展覧をなし吾が染織界の変遷を一般に観覧せしめ郷か本市産業の興隆に貿し居て大然るに其祭典及衣裳保管等に不勘経費を要し現在の講社員の醵出金のみにては多業達成上至難の事に有之実に付染織関係諸団体の御援助を願ひ其の目的達成に

努力殿居ニ至ル次第ニ候ヘ就ては近頃御出
費多端の折柄真に御迷惑の事とは存ニ
得共何卒本講社の趣旨御慨賛ニ来テ
国体講社員として御援助賜リ今別紙趣
意書、規約、申込書ハ添ヘ共段所依頼ニ
得共ニ意ニ至ル 敬具

発送先

宝町三条下ル 西陣着大御商業組合 理事長 [illegible]
宝町三条下ル 西陣帯地御商業組合 理事長 [illegible]
三条衣棚角 京都生絹繰綱御商業組合 理事長 [illegible]
三条衣棚角 京都人絹白生地御商業組合 理事長 [illegible]
烏丸 [illegible]寺 京都錦織物御商業組合 理事長 [illegible]
烏丸 [illegible]寺 京都半襟御商業組合 理事長 [illegible]

染織講社趣意書
同規約
同施行細則

4-5　庶務一件　　昭和17年

染織講社趣意書

染織ニ關スル技術ハ世界各國ヲ通シ其淵源極メテ古ク我國ニ於テモ原始時代ニ既ニ其ノ道ノ開ケタリシハ想像ニ難カラサル所ニシテ其後歴史文化ノ影響ト洗練陶冶トヲ經テ漸次發達ノ域ニ進ミ殊ニ近代科學ノ進歩ハ機械ノ應用ヲ促進シ以テ今日ノ隆盛ヲ見ルニ至レリ染織業ハ今ヤ我國産業ノ樞位ヲ占メ其消長ハ國家又國民經濟上極メテ重大ナル關係ヲ有スルニ至リタルハ多言ヲ要セサル所ナリ抑々斯業ノ淵源ハ遠ク神代ノ昔ニ發セルハ明カニシテ吾人ハ姑メテ染織ノ道ヲ拓キ之ヲ後世萬民ニ傳ヘ給ヒシ染織諸祖神ノ神恩ノ宏大無邊ナルヲ思ハサルヲ得ス殊ニ本府ニ於ケル産業ハ染織及之レニ關聯セルモノ其ノ樞軸ヲ占メ直接及間接之ニ依リテ生活スル者他地方ニ比シ實ニ多大ニシテ前記諸神ノ神恩ニ浴スルノ程度亦一層深シト謂ハサルヘカラス

然ルニ由來我京都ニハ四季ヲ通シ各神社ノ盛儀ナル祭事行ハレツヽアリト雖モ未タ府民ニ最モ關係深キ染織祖神ニ感謝ノ意ヲ捧クヘキ祭祀ニ乏シカリシハ誠ニ識者ノ深ク遺憾トセシ所ナリ依ツテ茲ニ有志相諮リ左記規約ニ依リ染織講社ノ設立ヲ發起シ毎年陽春ノ季ヲトシ染織祭ヲ行ヒ以テ我國染織諸祖神ノ御神德ヲ宣揚シ其ノ洪恩ノ萬分ノ一ニ報ユル所アラムトス

冀クハ大方ノ諸賢奮ツテ本講社ノ趣意ニ翼贊加盟セラレ以テ其ノ所期ノ目的ヲ達成セシムル爲協賛アランコトヲ

祭神

天棚機姫神　天羽槌雄神
天日鷲神　長白羽神
津咋見神　保食神
栲幡千々姫命　吳織女（合祭）
漢織女（合祭）

染織講社規約

（昭和六年二月十六日設立
昭和十五年十二月六日改正）

第一條　本講社ハ染織講社ト稱ス

第二條　本講社ハ染織祖神ノ神德ヲ宣揚シ敬神尊祖ノ美風ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

第三條　本講社ハ前條ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、染織祭ノ擧行
二、前項ト關聯スル施設

第四條　本講社ハ本部ヲ平安神宮内ニ置ク

第五條　本講社ハ第二條ノ目的ヲ翼贊スル者ヲ以テ之ヲ組織ス

第六條　本講社員ヲ左ノ三部ニ分ツ

第一部　染織業者ノ團體
第二部　染織ト關係アル團體
第三部　特ニ本講社ノ事業ヲ翼贊スル者及其ノ團體

第七條　本講社ニ加盟セントスル者ハ其ノ氏名（團體ニアリテハ代表者ノ氏名）ヲ記載シタル書面ニ依リ其ノ旨本會ニ申込ムヘシ

第八條　本講社ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　一名
副會長　一名
評議員　若干名
理事長　一名
理事　九名

會長ハ理事中ヨリ常任理事一名ヲ定ム

第九條　會長ハ京都市長、副會長ハ京都商工會議所會頭トス

評議員ハ會長之ヲ委囑ス

理事長ハ京都市助役、理事ハ西陣織物工業組合代表者一名、日本染織物見本市協會代表者一名、京都府一名、京都市二名、京都商工會議所一名及染織ト關係アル業者中ヨリ三名ヲ以テ之ニ充テ會長委囑ス

第十條　本講社ニ名譽會長及顧問ヲ置クコトヲ得

名譽會長ハ京都府知事ヲ推戴シ顧問ハ評議員會ノ示認ヲ得テ會長之ヲ囑託ス

第十一條　會長ハ本講社ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

評議員ハ講社ノ機務ニ參與ス

理事長ハ講務ヲ掌理シ會長、副會長共ニ事故アルトキハ之ヲ代理ス

理事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ講務ヲ處理ス

第十二條　役員ハ凡テ名譽職トス

第十三條　本講社ノ會議ハ評議員會及理事會ノ二種トス

評議員會ハ毎年十二月會長之ヲ招集ス、但シ臨時必要アルトキハ其ノ都度之ヲ招集ス

理事會ハ會長及理事長ニ於テ必要ト認メタルトキ之ヲ招集ス

第十四條　評議員會及理事會ノ議決事項左ノ如シ

評議員會

一、規約ノ變更
二、豫算ノ議決及決算ノ承認
三、講務ニ關スル報告ノ承認

理事會

一、事業ノ執行ニ關スル事項
二、評議員會ニ附議スベキ事項
三、會長及理事長ニ於テ必要ト認メタル事項

第十五條　本講社ノ經費ハ各講社員ノ分擔醵出シタルモノ及寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第十六條　本講社ノ會計年度ハ曆年ニ依ル

第十七條　本規約ノ施行ニ必要ナル細則ハ理事會ノ議決ヲ經テ會長之ヲ定ム

染織講社規約施行細則

（昭和六年三月制定
昭和十三年一月改正）

第一條　本講社ノ事務所ハ當分ノ間京都市役所産業部商工課内ニ置ク

第二條　本講社ニ於テ行フ染織祭ノ日時及式場ハ理事會ノ議決ヲ經テ會長之ヲ定ム

第三條　本會ニ主事一名事務員若干名ヲ置キ會長之ヲ任命又ハ囑託ス

第四條　主事ハ上司ノ命ヲ承ケ講社ノ事務ヲ處理ス

事務員ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務、會計事務ニ從事ス

第五條　會長ハ祭典ニ關シ事務ヲ處理スル爲メ毎年左ノ委員ヲ設ケ之ヲ分擔セシムルモノトス

一、式典委員
二、祭典委員

各委員ニ委員長ヲ置ク

第六條　委員長ハ會長、理事長ノ指揮ヲ承ケ委員ハ委員長ノ指揮ヲ承ケ所屬ノ事務ヲ處理ス

4-5　庶務一件　　昭和17年

染織講社員團體申込書

取扱者
所屬組合

貴講社ノ趣旨ヲ翼賛シ講社員トシテ申込候也

昭和　年　月　日

住所

氏名

（團體講社員年額五拾圓　月　日納入）

染織講社會長
京都市長　市村慶三殿

假領收書

取扱者
所屬組合

一金五拾圓也

但シ昭和　年度染織講社員團體分擔金

右領收候也

昭和　年　月　日

取扱者

殿

控

扱者

住所

氏名

染織講社分擔金五拾圓受領月日　昭和　年　月　日

4-5　庶務一件　昭和17年

常任理事

昭和十七年三月二日

京都府

別紙申請ノ件詮議ニ難ク候
條御了知相成度
一應書類返戻候也

農政課長

符箋其儘返戻ノ事

四前年ノ實績　供餅鏡餅　壹石

右祭典供餅鏡餅用糯米特別配給相受度此段申請候也

講社執行）

谷朗藏

祭職講
印長

4-5　庶務一件　昭和17年

昭和十七年二月十六日

染織講社會長

京都市長　加賀谷朝藏

京都府知事　安藤狂四郎　殿

祭典用鏝餅米特別配給申請

一、祭典名　染織祭（染織講社執行）

二、場所　京都市勸業館内

三、月日　昭和十七年四月十一日

四、前年ノ實績　供餅鏝餅　壹石

右祭典供餅鏝餅用糯米特別配給相受度此段申請候也

染織講社

染織講社印

4-5　庶務一件　昭和17年

昭和　年　月　日決裁

昭和十七年三月二十二日起案

昭和十七年三月二十三日發行

起案者

淨寫者

校合者

會長

理事長　代

常任理事

庶務

會計

団体講社員分担金ノ件

年　月　日

染織講社

組合宛（別記）

拘留ハ本年一月三十日付ヲ以テ御依頼ヲ上ル矣

本年度団体講社員分担金五十円也御

多忙中ノ御手数至恐御送金相成ル矣

様御立斗ハ頭々此段特ニ御依頼

ヲ上ル矣　敬具

日本標準規格B4(257×364mm)

4-5　庶務一件　昭和17年

京都染呉服悉皆同業組合
日本染織物見本市 収合
百貨店商業組合 京都支部
京都友禅工業組合
けとや 百貨店
京都染呉服卸同屋商業組合
小松内地向絹人絹織物工業組合
秩父織物工業組合
福井縣織物同業組合

4-5 庶務一件 昭和17年

拝啓

陳者一月三十日附田体講社員分担金ニ関スル御書面御送付被下候由其ノ後ノ御書面ニテ拝承仕候處何カノ手違ヒカ未ダ當方ヘ到着仕ラズ候ニ付テハ甚ダ御面倒ヲラ今一通御送付相賜度此段御願申上候

三月六日

京都府中郡峯山町

丹後縮緬工業組合

本日葉書を以て一月三十一日附御書面未着の旨申上げましたが當方保管者の手違ひで御書面は正に頂戴致し居りました

改めて御送付願はなくとも結構で御座居ます

失礼致しました

昭和　年　月　日決裁

昭和十七年三月二日起案

昭和十七年三月三日發行

淨寫者

校合者

會長

副會長

理事長 代

常任理事

理事

幹事

起案者

團体講社員分担金一件

年月日

染織講社

組合記

拝啓去ル一月三十日付ニ御依頼申

上ノ團体講社員本年度分担金

五十円御送付申候ニ付至急御送

金ニ与ニ様御名ニ付ス頼ニ及右

御依頼申上ノ矣敬具

稟議用紙　染織講社

4-5　庶務一件　昭和17年

昭和十七年　月　日

染織講社會長

京都市長　加賀谷朝藏

丹後縮緬工業組合御　中

拜啓益々御清穆奉慶賀候　陳者本講社事業ニ關シテハ毎々多大ノ御援助ヲ賜リ奉感謝候本講社モ御蔭ヲ以テ社礎愈々契實ト相成候段御同慶ノ至リニ奉存候

扨本年ノ染織祭ハ來ル四月十一日ニ嚴肅ニ擧行併セテ戰勝祈願ヲ致シ神前ニ小町踊ヲ奉納スルコトトシ目下之ガ準備中ニ有之候就テハ本年度團体講社員分擔金五拾圓也來ル三月二十五日迄ニ御手數當事務所迄御送金相願度此段御依頼申上候

敬具

追而本講社時代衣桂保管場所ニ付遺憾ノ點有之候ニ付先般役員會ニ於テ本年度ニ於テ保管倉庫建設ノ事決議相成候間本市營繕部監督ノ下ニ目下本市勤業館構内ニ建築中ニ付御承知置相成度申添候

染織講社

日本標準規格 B4（257×364mm）

4-5　庶務一件　昭和17年

昭和　年　月　日決裁	昭和十七年一月廿日發行	淨寫者	校合者
昭和十七年一月十九日起案	起案者		

會長 ／
副會長 ／
理事長 代
常任理事
理事
幹事

団体講社員分担金に関スル件

年一月末日
染織講社会長
京都市長

団体長 宛

拝啓益々御清掃事慶賀に除は本講社事業に関しては毎に多大の御指助を賜り事感謝し本講社も御蔭を以て社礎愈
奥実とお本当も御同慶の至りに事存
物て本年の染織案は来る四月十日に厳
粛に挙行候せて戦勝祈願を致し神
前に小所踊を奉納する事とし同下之れが
準備中に有之候就ては本年度団体
講社員分担金五拾円也来る三月廿五
日迄に御手数当事務所迄御送金
れ願度如段御依頼申上候敬具
追ひ本講社時代衣裳保管場所に付遺憾
ノ点有之候に付先般役員会に於テ本年度

稟議用紙
染織講社

4-5 庶務一件 昭和17年

ニ於テ保管倉庫建設ノ承諾ヲ
本年度本市營繕部監督ノ下ニ同ニ
本市勧業館構内ニ建築中ニ付御承知
置ヲ本名申添ヘ

4-5　庶務一件　　昭和17年

昭和十七年度團體講社員

西陣織物工業組合
西陣着尺織物工業組合
京都織物卸問屋同業組合
京都染物同業組合
京染呉服悉皆同業組合
日本染織物見本市協會
京都生糸問屋蠶糸商共同施設組合
京都織物輸出組合
京都關東織物卸商業組合
秩父織物工業組合
百貨店商業組合京都部會 大丸
福井縣織物同業組合
丹後縮緬工業組合
江とや百貨店
京都友禪工業組合
京都絞工業組合
株式會社三越京都支店
京都染呉服卸問屋商業組合
小松内地向絹人絹織物工業組合

計 一九

~~染織物見本市協會 二〇〇圓~~

4-5 庶務一件 昭和17年

掛ケ麻久毛畏伎天棚機姫大神等乃大前ヲ染織講社會
長京都市長正四位勲四等加賀谷朝蔵恐美恐美毛白左久大神
等乃遠都神代ヲ事始米給比志機織染物乃業乃歳經留
任ヲ立栄衣行久深伎厚伎恩頼乎辱美奉里氏斯我業
乃本都所登名ヲ負辺留此乃京都市乃春乃最中乃今日志毛
例乃任ヲ此乃齋場ヲ御祭仕奉里氏奉美奉里又大前
ヲ其昔乎着粧布女乃姿乃舞乎着奉狀乎平ケ久

京都市

安ケ久諾比聞食志氏今毛以後毛高伎廣伎神徳乎幸
辺給比氏斯乃業乃人々各撓乎事無久怠事無久彌励
ヲ勤美氏新志伎乎競比美志伎乎撰美柳桜の錦ヲ立
優里氏御國乃御爲ヲ忠志久勤志久彌張ヲ彌廣ヲ立栄
由信久守幸辺給辺登恐美恐美毛白須辞別伎氏白左久今度
乃大東亜乃大自伎戦ヲ際里氏我賀皇軍人股大神等の

一般一號 京都納
日本標準規格 B4 (257×364mm)

高仗尊仗思頼乎蒙里奉里氏米英及其礼乎興礼留国
々乎討罰米乎登海乎陸乎空乎夜登奈久日登奈久危仗乎冒
志若志仗乎堪旦身毛太奈知良乎労仗勤美天下乎輝加志仗
功勲乎顕世留賀故乎斯久出立氏留御軍人の身乎毛亦乎
諸の禍事無久武久雄々志久長久久多久在良志米給比氏
連乎彼の凶徒乎悉乎討懲志事向和志氏
大御稜威高乎蒲廣乎大東亜の國々蒲栄表乎立栄
由偉久夜乃守日の守乎守里恵美幸旦給旦冬恐美
恐美毛白須
昭和十七年四月十一日

京都市

一枠一號 京消納

日本標準規格 B4 (257×364mm)

4-5 庶務一件 昭和17年

昭和　年　月　日決裁

昭和十七年三月二十四日發行

淨寫者

校合者

昭和十七年三月廿三日起案

起案者

會長

理事長　代

理事

庶務

會計

仰人講社員申込書一件

年月日　染織講社

先

拝啓　本講社員申込書御多用乍御手数お煩し至ら長至急御送付お願ひ重ねて御依頼申上ゲ候敬具

京都人絹皇地卸商業組合

京都生絹織細卸商業組合

京都綿織物商業組合

市内三条通衣棚角

烏丸通美壽寺

日清ビル内

株式会社矢代仁商店　湯沫和之助

田中久商店　高田佐一

（室町二条下ル）

（室町高辻角）

株式会社美濃利商店　岡田隆吉

（六角通室町西）

三興株式会社京都支店　塚本喜造

（烏丸四条下ル）

稟議用紙

染織講社

日本標準規格B4(257×364mm)

4-5　庶務一件　昭和17年

急

昭和　年　月　日決裁

昭和十七年三月廿七日起案

昭和十七年三月十七日發行

淨寫者

校合者

會長

理事長　代

理事　常任

庶務

會計

但人講社員申込書ノ件

年月日　染織講社

宛

拝啓　晨ニ御依頼事ニ実本講社員申込書同下御名儀ノ申トハ存実ニ異条典期日モ切迫致実ニ付準備ノ都合モ有之

実日御多用ニ御手数至急申込書御送付相頼之候右及御依頼実や

発送先

京都人絹皇地卸商業組合
京都生絹織絹卸商業組合　市内三条通衣棚角
京都綿織物卸商業組合　烏丸通蛸薬寺　日清ビル内

西陣着尺織物工業組合　今出川通浄福寺西入

三興株式会社京都支店　塚本喜造　（烏丸四条下ル）

株式会社市田商店　高橋佐太郎　（室町仏光寺上ル）

株式会社矢代仁商店　湯浅和之助　（室町二条下ル）

田中久商店　高田佐一　（室町高辻角）

株式会社美濃利商店　岡田隆吉　（大角通室町西入）

日本織準規格B4(257×364mm)

4-5　庶務一件　昭和17年

發第九一號

昭和十七年三月十三日

京都染吳服卸商業組合

染織講社御中

個人講社員申込狀況回答ノ件

三月十日附御照會ニ係ル標記ノ件十三日現在ニ於テ申込書參拾六通金額壹百八拾圓也ニ付御了承相成度候也

追而申込書ハ目下取纏中ニ付後日一括シテ御送付可致候

京都市下京區四條通烏丸西
京都染吳服卸商業組合
電話本局六〇九〇番

JIS B5 (182×257mm)

4-5 庶務一件 昭和17年

昭和　年　月　日決裁

昭和十七年三月十日起案

昭和十七年三月十一日發行

淨寫者

校合者

起案者

會長

副會長

理事長

常任理事

理事

幹事

伯人講社員進状況問合ノ件

年　月　日

染織講社

紙合先

拝啓日裏ニ御問合ヲ申上ル本講社

員申込状況ノ件因下申込書御元纏

中ハ存ニ其案典期日モ追ル切迫

シ其日託急ニ具他準備ノ都合ニ有之

其日御為ニ限リ乍御手数兼悪御

手許ニ御元纏メ下申込諸至急御内報

ヲ煩シ度此段重ヲ于御依頼申上矣

敬具

追申込書御元纏メ下ニ至ル御送付ヲ願ヒ

稟議用紙

染織講社

染都染呉服卸商業組合　市内烏丸四条角

西陣着尺卸商業組合
西陣帯地卸商業組合　市内室町三条下ル

京都生絹結綿卸商業組合
京都人絹日生地卸商業組合　市内三条通衣棚角

京都綿織物卸商業組合　市内烏丸通美壽寺
白瀬ビル内

京都半襟卸商業組合　市内烏丸通仏光寺
関東織物卸商業組合　市内烏丸通蛸薬師下ル
絹業会館内

西陣織物工業組合　市内今出川通大宮東入
西陣着尺織物工業組合　市内今出川通浄福寺西入

染織講社

京都染物同業組合　市内四条通西洞院角
洋午シヨル卸商業組合　岡崎貿易振興館内
見本市　加茂宗右衛門

日本標準規格 B4 (257×364mm)

4-5　庶務一件　昭和17年

宝竹四条下ル
安夏商店

宝竹四条上ル 連名
吉田忠商店
（梶田松太郎
高清和三郎）

烏丸四条下ル
三興株式会社京都支店
塚本喜造

宝町仏光寺上ル
市田商店

高橋佐太郎

矢代仁商店
湯津和之助

田中名商店
高田佐一

美濃利商店
岡田隆吉

昭和	年	月	日決裁	昭和17年2月25日發行	淨寫者	校合者
昭和十七年二月廿三日起案				起案者		

會長	副會長	理事長	常任理事	理事	幹事
/		代		/	/

伯人講習員勧誘状況ニ合セノ件

年 日 日

染織講社

組合先

拝啓日裏ニ御依頼申上ニ美本講社員募集ニ関シテハ国下御配慮中ニハ存ニ美

稟議用紙

一 染織講社

美ノ其記念号ノ準備ノ都合モ有之ニ美ニ付御多忙中乍御手数申込者状況御内報お煩ニ之ニ於設御依頼申上ニ美敬具

追而御申込事御内纏ニ下ニ美者有之ニ美ニ付乍御手数御送付お願ニ申添ニ美

昭和　年　月　日決裁

昭和十七年一月十九日起案

昭和十七年一月廿九日發行

淨寫者

校合者

會長

副會長

理事長　代

常任理事

理事

幹事

起案者

講社員募集依頼状其他送付
一件

年　月　日　二十三日

染織講社

組合宛

輝啓講社員募集ニ関シテハ毎々
御配慮ヲ煩シ年深謝ス本年モ不ル
変一層ノ御尽力ヲ願ヒ別包募集ニ
関スル書類左記ノ通リ御送付申上ニ夫々
御多用中合御速ニ感精ニ多数御勧
誘ヲ前年数以上ニ御為配ヲ願ヒ
特ニ御依頼申上ニ夫敬具

記

仰人講社員依頼状　通
会　封筒　枚
ノ申込書　枚

待遇方法
名簿

一冊　枚

稟議用紙　染織講社

4-5　庶務一件　昭和17年

組合名	依頼状	封筒	申込書	待遇方法	名簿
京都染呉服卸商業組合	五三〇	五三〇	五三〇	五三〇	三
西陣着尺卸商業組合	三二五	三二五	三二五	三二五	二
西陣帯地卸商業組合					
京都生絹縮緬卸商業組合					
京都人絹皇地卸商業組合	五〇	五〇	五〇	五〇	〇
京都綿織物卸商業組合	六〇	六〇	六〇	六〇	一
京都中楽卸商業組合	三〇	三〇	三〇	三〇	
関東織物卸商業組合	六〇	六〇	六〇	六〇	一
西陣織物工業組合	一五五	一五五	一五五	一五五	一
西陣着尺織物工業組合	五〇	五〇	五〇	五〇	一
京都染物同業組合	三〇	三〇	三〇	三〇	
洋傘ミヨル肩掛卸商業組合	三三	三三	三三	三三	

染織講社

一、三二三

本日改せく
洋傘ニ於ける以前以上四附ニ於ケル中越しの個人
講義員ヘ募集ニ関シ記念ノ準備の
件ニ於ケル迎合ニ接シ居リ申
申込書到着致し居らず 本日組合
より対参致しかニ付 早速ニ関係先へ
勤誘ニ於ケル大切 次第ニ付 至急勤誘
の上ヲ迎下半可ヘ
大用之即回答迄

日本標準規格 B4 (257×364mm)

4-5 庶務一件 昭和17年

20人

組織組合

募集委員出席者氏名

出 市田商店 高橋佐太郎氏 藤木松三郎

出 羽田商店 羽田廣二氏

出 外與商店 小杉伊之助氏

出 沂邊都二商店 佐野金之郎氏

出 塚弁商店 村田光太郎氏

出 上田勘商店 小谷英造氏

出 矢代仁商店 湯浅和之助氏

出 田中久商店 田中吉之助氏 高田佐

出 美濃利商店 佐藤次郎氏 代岡田隆吉氏

出 西陣織物工業組合 小西弁次郎氏

日本染織物見本市 加藤宗太郎氏

右株 シーヨル組合

洋行

染織講社

出 西陣着尺織物工業組合 北川治太郎氏

京都織物部品屋内業組合 小林美樹雄氏

出 安藤商店 梶田松太郎氏

出 〃 高清和三郎氏

出 関東織物部商業組合 北川隆三氏

出 京都染物同業組合 小倉良之助氏

出 元龍紅三 株式 橋本儀三

出 京都洋石物商業組合 河野與助

日本標準規格 B4 (257×364mm)

4-5 庶務一件 昭和17年

三月二十
右送付

昭和十七年二月廿六日

京都染物同業組合

京都市四條通西洞院南
電話本局(2)一九六六番

染物同業組合

染物同業組合

徳人染物御後状況

目下ニ於名御後ハ当ニ於カ御後中
ニシテ十名内外増加ノ見込大モ確定ナラズ
申込書ハ染物同業組合ニ送付致ス

京都染物同業組合

是ヲ最ニ御回付ニ成リ徳人染物ニ於テ仕様
状及関係書類十五組ハ送付ニ成リ

（規格B4）

昭和　年　月　日決裁

昭和　年　月　日發行

淨寫者

校合者

昭和十七年四月十五日起案

起案者

會長

理事長　代

理事

庶務

會計

講社員分担金送金依頼ノ件

年　月　日

染織講社

福井縣織物同業組合宛

拝啓　先般御依頼ノ上ニ本講社

員分担金五拾円也御為用ノ上御

手数　至急御送金相煩ハ　先般御依頼

ノ上ニ至敬具

稟議用紙

染織講社

日本標準規格B4(257×364mm)

4-5　庶務一件　　昭和17年

昭和十七年度團體講社員

西陣織物工業組合 今出川通大宮東入
西陣着尺織物工業組合 今出川通淨福寺西入
京都織物卸問屋同業組合 室町三条下ル
京都染物同業組合 四条通西洞院角
京染呉服悉皆同業組合 三条通西洞院東入
日本染織物見本市協會 左京区岡崎 京都市南昌陳列館内
京都生糸問屋蠶糸商共同施設組合 大宮通今出川上ル
京都織物輸出組合 烏丸通錦上ル
日本絹人絹京都輸出組合京都支部
京都關東織物卸商業組合 烏丸通錦小路上ル
秩父織物工業組合 埼玉県秩父町 絹業会館内
百貨店商業組合京都部會 四条通寿倉 大丸京都店内
福井縣織物同業組合 福井市佐佐枝町八五
丹後縮緬工業組合 中郡峯山町

はとや百貨店 京都駅前
京都友禪工業組合 壬生森前町四
京都綾工業組合 松原通室町西入
株式會社三越京都支店 室町通二条上ル
京都染呉服卸問屋商業組合 四条通烏丸西入
小松内地向絹人絹織物工業組合 石川県小松町

計 一九

染織物見本市協會 二〇〇圓

京都事襟卸商業組合（五十円口）

昭和　年　月　日決裁

昭和　年　月　日發行

淨寫者

校合者

昭和十七年四月十六日起案

起案者

會長

理事長　代

理事

庶務

會計

伯人講習募集委員ニ對スル様ノ状

案

年　月　日

理事　半

募集委員宛

お願愈御清適年賀陳者先般講

稟議用紙　染織講社

社員募集ニ関しては御多用中にも不拘多
大ノ御高配を預り御深謝之事就ては御
慰労として都踊観覧券下賜ニ壱葉
贈呈申上ニ付御利用之年度右下略
係以事中御様拝申上候敬具

日本標準規格B4(257×364mm)

4-5　庶務一件　昭和17年

室町 仏光寺上ル	市田商店	菱木松三郎
東洞院 六角下ル	外村 [illegible]左衛門商店	小松伊之助
室町 高辻上ル	奥井平次郎商店	奥井平次郎
蛸薬師 烏丸西	河辺七商店	西田乙次郎
室町 四条下ル	合資会社	何野貴助
三条 堺町西	力や平商店	田中平六郎
烏丸 仏光寺上ル	株式会社 [illegible]	
室町 二条下ル	株式会社 矢代仁商店	湯津和之助
室町 高辻角	株式会社 田中久商店	高田佐一
六角 室町西	株式会社 美濃利商店	岡田隆吉
今出川大宮東入	西陣織物工業組合	小西兵次郎
仝	仝 組合	白木茂二
今出川浄福寺西	西陣看人織物工業組合	北川給次郎

室町 三条下ル	京都織物卸同屋 日業組合	小林美樹雄
四条 西洞院角	京都染物日業組合	小倉良之助
烏丸 四条下ル	三興株式会社 京都支店	中村周三
仝	仝 店	塚本喜造
室町 四条下ル	株式会社 安愛商店	梶田松太郎
仝	仝 店	高清和三郎
烏丸通 蛸薬師下ル 絹業会館内	関東織物卸商業組合	北川隆三
左京区 市商品陳列所内	日本深織物見本市 恨会	加愛宗太郎
室町 四条上ル	株式会社 吉田忠商店	中島義一
四条通 烏丸西	京都染呉服卸商業組合	安森政造
烏丸 東寿寺 日清ビル内	京都錦織物卸商業組合	武内尚次
三条通 衣棚角	京下人絹身地卸商業組合	羽田廣二
室町 四条下ル	羽田商店	

B本標準規格 B4 (257×364mm)

4-5 庶務一件 昭和17年

24

22

室町四条下ル　池田商店　和田卯一郎

烏丸仏光寺上ル　磯兼商店　村田光太郎

不明門松原下ル　上田勧商店　小西英造

室町五条上ル　[illegible]商店　山[illegible]佐有[illegible]

烏丸万寿寺[illegible]四　京都帽子織物卸商業組合

四条通烏丸西入　京都洋呉服商業組合

外に役員

常任理事　精[illegible]　博

理事　佐野彦三郎

[illegible]田[illegible]二郎

山川乙次郎

伊藤太一郎

吉水順孝

渡辺清太郎

事務所員　出席

合計　四十二名

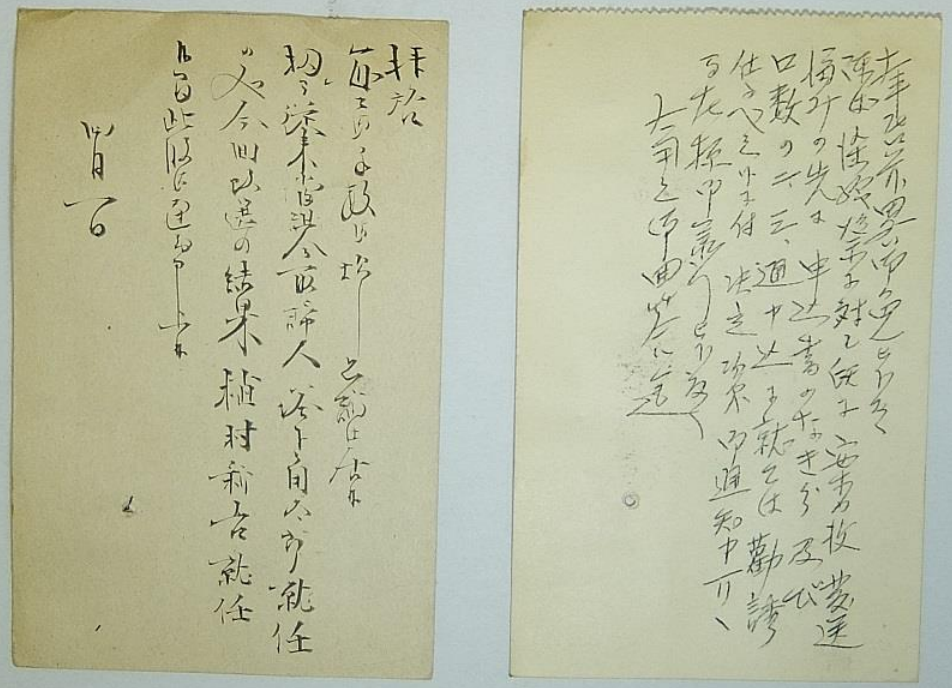
小栗　片岡　[illegible]　佐々木　[illegible]　山[illegible]

染織講社

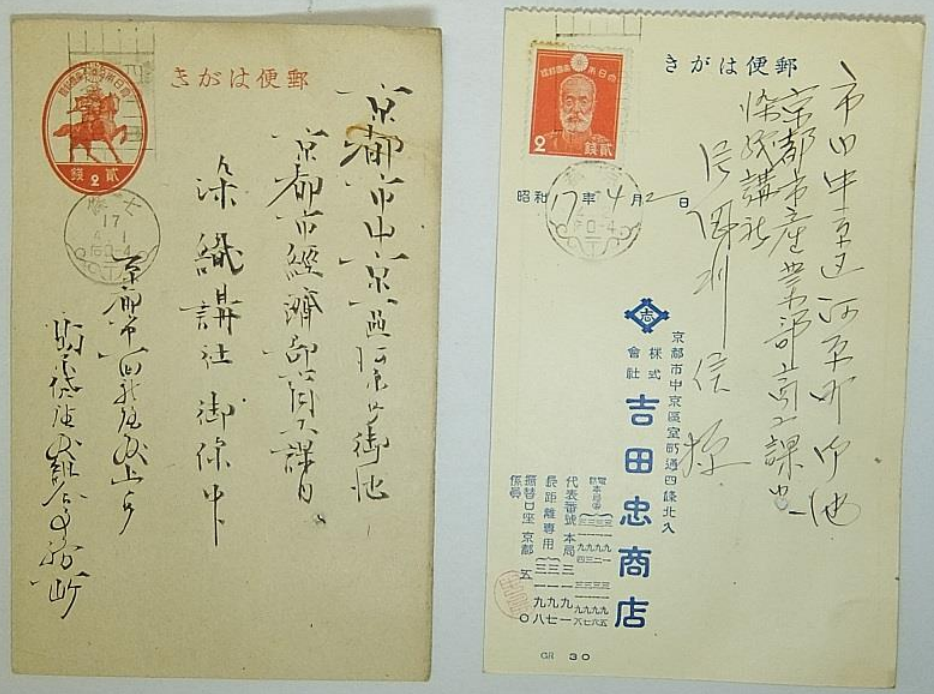
33枚

90

日本標準規格 B4 (257×364mm)



4-5　庶務一件　　昭和17年



4-5 庶務一件 昭和17年

京都市指令收經商第二六八號

染織講社會長　加賀谷朝藏

昭和十六年十一月二十七日附申請補助金下附ノ件聽屆ケ左記條件ヲ附シ金貳千七百圓ヲ交付ス

昭和十七年四月十五日

京都市長　加賀谷朝藏

記

一、補助金ハ昭和十七年度執行ノ染織祭典並ニ小町踊奉納費ニ充當スヘシ

二、收支決算書及事業報告書ハ昭和十八年一月末日迄提出スヘシ

三、前各項ニ違背シ若ハ第一號ノ經費ヲ著シク減シタルトキハ補助金ノ全部又ハ一部ヲ返還セシムルコトアルヘシ

四、市長必要アリト認ムルトキハ京都市事務監査規程ヲ準用シテ事業ノ監査ヲ爲スコトアルヘシ

京都市

4-5　庶務一件　昭和17年

1,200枚　300枚

昭和　年　月　日決裁
昭和十七年三月三十一日發行
淨寫者
校合者
昭和十七年二月二日起案
起案者
會長
副會長
理事長
常任理事
理事
幹事

染織祭ニ典案内ノ件

謹啓愈御清穆年ニ慶賀ニ陳者
來ル四月十日午前十時本市宮崎公園
市勸業館ニ於テ例年通リ染織祭
挙行併せて戰勝祈願致ニ因御繰
合御參拜ニ來ル此段御案内
申上ニ候敬具
年　月
染織講社會長
京都市長　加賀谷朝藏

追而御參拜の節は乍御手数本案内状卦
間御持參ニ候

講社員ノ案内状追書ノ友記ノ通リ

追而当日御參拜の講社員は記念品を口王し或右小竹
踊の舞納者之人ニ及ヒ乍御手数本案内状卦間
御持參ニ候

稟議用紙　染織講社

4-5　庶務一件　昭和17年

案内状 発送先

一 府、市、今課行関係者

一 市、今課行課員

一 陸海関係 神社、

一 市内警察署長（中立庵、西陣、川端 松原 土条）

一 講社員 講社役員、講社員募集委員

一 市内八遊廓 元締、

4-5 庶務一件 昭和17年

昭和　年　月　日決裁

昭和　年　月　日發行

淨寫者

校合者

昭和十七年三月十九日起案

起案者

會長

理事長　代

理事　常任

庶務

會計

供饌代々実ス八件

四月十日深識案書ヨリ講社員及来賓々配

有ノ供饌（菓子）代金百円神祇院宗都

支部菓子寿配給ニ任宗像神社社司

高屋定出氏ヘ前金（菓子切符）支払可然

哉

稟議用紙

染織講社

記

一金百円

菓子寿

菓子二個包　千個分

電上　二六二三

日本標準規格B4(257×364mm)

4-5　庶務一件　昭和17年

昭和　年　月　日決裁

昭和　年　月　日發行

淨寫者

校合者

昭和十六年四月十五日起案

起案者

會長

副會長

理事長

常任理事

理事

幹事

深識案也すらい踊指導者附記

一金五拾円也

内訳

金三十円　猪熊津磨

金二十円　出雲路敬豊

右一通文書可取事哉

4-5　庶務一件　　昭和17年

昭和　年　月　日決裁

昭和　年　月　日發行

淨寫者　村上

校合者

昭和十七年四月廿日起案

起案者　[illegible]

會長　／

理事長　代

理事　[illegible]

庶務　／

會計　／

理事会所催ノ件

年　月　日

理事長

理事　先

初頭先般染織祭挙行の際は種々御合力配を頼し以御蔭を来す

稟議用紙　染織講社

好都合に終了致候如事深謝候就ては左記の件御報告旁理事会所催可致候日御多忙中左御速感来る五月八日午后五時岡山平野家迄御足労お願ひ其段御回了申上候　敬具

記

一　本年度講社員募集状況ノ件

二　戦争費、祭事費、中日報告

三　其ノ他

日本標準規格B4(257×364mm)

4-5　庶務一件　昭和17年

理事長　山崎隆義
常任理事　猪飼博
理事　山川乙次郎
理事　圓城留二郎
佐野金三郎
伊藤大三郎
吉水順孝
浮田清方郎
三橋正方郎　口頭通知済
大橋理祐

乙訓郡西向日町住生地
市内宮町四条下ル　安義商店内
市内東洞院六角下ル　道前二商店内
〃　烏丸四条下ル　株式会社三興機会社京都支店
京都商工会議所
〃
〃
〃
〃
市内今出大宮東入　西陣織物工業組合

4-5　庶務一件　昭和17年

昭和　年　月　日決裁
昭和17年5月21日發行
淨寫者
校合者

昭和十七年五月廿日起案
起案者

會長
理事長 代
理事 常任
庶務
會計

昭和十六年度事業報告

年　月　日

染織講社会事
京都市長　名

京都市長　宛

昭和十六年四月四日京都市指令收産商第五六三号ノ御指示ニ依リ本講社昭和十六年度收支決算並ニ事業報告ヲ

記

一、講社員

個人講社員　一口金五百　一、二八七口

団体講社員　一口金五十円　一九口

二、四月十二日午前十時岡崎市公会堂横内ニ於テ染織祭典執行ノ時ハ踊奉納セリ

三、講社員並ニ参列来賓ニ對シ御供物並ニ奉納ノ時ハ踊要入菓子皿贈呈セリ

日本標準規格B4(257×364mm)

4-5　庶務一件　昭和17年

四 今年九月晋講社時代行列衣裳倉庫用地トシテ市勧業館構内地ノ無料使用ノ件市長ニ申請今年九月十七日市長ヨリ無料使用ノ件許可アリタリ

五 今年十一月四日下邊八条二人同所昭田組代表昭田春藏ニ建築請負契約ス

以上

4-5 庶務一件 昭和17年

昭和　年　月　日決裁

昭和　年　月　日發行

淨寫者

校合者

昭和十七年八月三日起案

起案者

會長

理事長

理事

庶務

會計

伺

本講社常任理事猪飼博氏今般市經濟部
七退職ニ付講社常任理事在職中功績
不勘美ニ付慰労トシテ左記ノ通記念不
贈呈可相成哉

記

一金百七拾円也　記念不

参考

常任理事在職期間一年五ヶ月

稟議用紙　染織講社

日本標準規格B4(257×364mm)

4-5　庶務一件　昭和17年

拝啓益々清栄之段為御
尊家賀貴
業況日増之隆盛之和向之儀
誠ニ難有感銘の至りに御座候
偖而本日は定期預金は継続
致シ篤く御礼申上候御取計之
就ては精々留意致居り候間
出し氣付の点を何卒御教示
賜り度今後共一層御引立の程
奉希上候
先は略儀ながら書中御礼旁
御挨拶申上候如此御座候
敬具
昭和十七年七月三十日
三井銀行京都支店
支店長
[illegible]

染織講社
理事長
有本健三郎殿

京都市四條通烏丸角
株式会社 三井銀行京都支店
（京都七條郵便局私書函第一號）
電話本局 ㊂㊂㊂一一一
㊂㊂㊂〇〇〇
㊂㊂㊂四三二一番
振替貯金口座 高槻 三一六番

4-5 庶務一件 昭和17年

理事長　代

常任理事

[illegible]

拝啓益々清栄之段為御慶
存奉賀候陳者當行儀以往隆
業況日増之隆盛之赴向候
誠ニ難有感銘の至りに御座候
偖而本日は定期預金は継続
成之篤く御礼申上候取引之
就ては精々留意致居候間
出来る丈御付の点を何卒御教示
賜り度今後共一層御引立の程
奉希上候
先は略儀以書中御礼旁
御挨拶申上候如此御座候
敬具

昭和十七年八月廿五日

三井銀行京都支店
支店長
[illegible]

染織講社
理事長
有本健三郎殿

京都市四條通烏丸角
株式会社 三井銀行京都支店

昭和十七年九月廿日決裁

昭和十七年十月十日発行

浄寫者

校合者

昭和十七年九月廿日起案

起案者 [illegible]

會長

理事長

理事 [illegible]

庶務

會計

団体講社分担金ノ件

年月日

深織講社理事長

京都市助役有本健之郎

宛

[illegible]

稟議用紙

染織講社

[illegible]

日本標準規格B4(257×364mm)

4-5 庶務一件 昭和17年

出 出 出 出 出

発送先組合
四条通烏丸西入
京都絹人絹織物商業組合
理事長 大西太郎兵衛
今出川大宮東入
西陣織物工業組合
理事長 大橋理祐
今出川浄福寺東入
西陣着尺織物工業組合
理事長 高田利市
丘生坊城町
京都有禅染色工業組合
理事長 宅日敬太郎

染織講社

四条通西洞院角（京染会館内）
京都織物手工浸染精練工業組合
理事長 鶴口利太郎
紫井
室町通三条下ル
京都府和装既製品卸商業組合
理事長 伊藤太一郎

日本標準規格 B4（257×364mm）

4-5 庶務一件 昭和17年

試案

貴組合益々御清穆奉賀候陳者本
講社今般の件ニ関シ別紙の通リ右記組合
理事長ヘ先般依頼状差出シ置候間
中御迷惑乍ら主人側として来る十一月二十日
午后五時迄ニ木屋町三条上ル大市楼迄
御足労相煩シ度此段御通知申上候

敬具

染織講社
理事長 有本健三郎

講社理事の宛

記

京都絹人絹織物商同業組合理事長
西陣織物工業組合理事長
西陣着尺織物工業組合理事長
京都友禅染色工業組合理事長
京都和装既製品卸商業組合
京都織物并ニ浸染精練工業組合理事長
以上六名

講社常任理事 西村光次
講社理事 山川乙次郎 佐野静三郎
中村周三 吉水順孝
渡辺清太郎

別紙添付
発送先

昭和　年　月　日決裁

昭和17年10月30日起案

昭和17年10月30日發行

淨寫者

校合者

起案者

會長

副會長

理事長

常任理事 代

理事

幹事

三理事相集ノ件

染織講社

山川乙次郎　乙訓郡西向日町住宅地

牛村周三　馬右回四条下ル　二堺橋式会社京都文店

佐野金三郎　西洞院六角下ル　阪辺郡二商店

浜辺清太郎

拝啓毎々本講社事業ニ関しては多大の御尽力を賜り其深謝を借て先般大可様ニ於て御相談を願ふ講社負担金の件ニ付親敷御相談を願ふ筈旨御毎日御書の来ニ美濃来る十一月四日午后四時八段集合前美濃幸迄御足労を願ふ事此段御依頼申上ゲ候敬具

昭和　年　月　日決裁
昭和　年　月　日發行
淨寫者
校合者

昭和十七年十二月十一日起案
起案者

會長
副會長
理事長
常任理事
理事
幹事

国体講社負分担金に関する件

年　月　日

染織講社理事長
京都市助役有本健之郎

宛

お願い　愈御清穆事賀ゝ所者本講社事

稟議用紙

染織講社

業に関しては多大の御援助を賜り事深謝し
就ては先般本講社理事をして御願い申上し
国体講社負分担金の件に付御諮詢お願ひ
其日年来御多端の折諸事御迷惑の事と
は存ぜつゝ共来る十二月廿一日午后五時河原町御
池京都ホテル迄御来加馬を煩し度此段御
依頼旁得来意ニ至敬具
追ひ合御事数御当席の者共同封論書まで
御一報致上し

東維講社費分擔金表

分擔金	組合名
三、五〇〇	京都絹人絹織物卸商業組合
一、一〇〇	京都友禪染色工業組合
一、〇〇〇	西陣織物工業組合
一、〇〇〇	京都織物手工浸染精練工業組合
六〇〇	西陣着尺織物工業組合
五〇〇	京都府織維既製品卸商業組合
三〇〇	京都生糸問屋蠶糸商共同施設組合
二〇〇	京都輸出絹人絹商業組合
二〇〇	丹後縮緬工業組合
二〇〇	京都絞製造工業組合
二〇〇	西陣產元株式會社
一〇〇	日本百貨店商業組合京都支部
一〇〇	京都吳服染更生商業組合
一〇〇	京都織維製品小賣商業組合

4-5 庶務一件　昭和17年

発送団体名

四条通烏丸西入
京都諸人絹織物卸商業組合 理事長 大西太郎 出 小林美樹雄 共東
壬生坊城町一
京都友禅染色工業組合 理事長 出 宅習敬太郎
今出川大宮東入
西陣織物工業組合 理事長 出 大橋理祐
四条通西洞院角 京染会館内
京都織物手工浸染精練工業組合 理事長 出 鈴口初太郎
今出川洋福寺東入
西陣着尺織物工業組合 理事長 出 吉岡利市
仏光寺室町西入
京都府織維既製品卸商業組合 理事長 出 伊藤太一郎

烏丸通 蜻蛉師 下ル（諸業会館内）
京都諸人絹輸出商業組合 理事長 出 山上頼 [illegible]
大宮通 今出川上ル
京都生糸同屋産業商共同施設組合 理事長 出 山田就将
形象通 室町西入
京都綾製造工業組合 理事長 出 上田善太郎
西陣織産元株式会社 社長 太西太郎 共
室町押小路 下ル
京都呉服染更生商業組合 理事長 出 山本勝之助
室町清池上ル
京都織維製品小売商業組合 理事長 出 村上孫太郎
米津 榮一
烏丸 蜻蛉師 下ル（諸業会館内）
京都新門前 [illegible]
京都新門前 [illegible] 御織物商業組合 理事長 [illegible] 宍戸二郎

二名宋

擇所ハ先般来御高配ヲ煩シ居ル
本講社員分担金ノ件ニ付別紙ノ通
理事組合理事長ニ差出シ実日前来御
多忙ノ折柄ニ御迷惑来ル十二月廿日午后
此時迄ニ河原町御池京都ヨリ二ツ迄御
足労ヲ煩シ至然段御依頼申上ニ
敬具

年 月 日

理事 [illegible]

理事 [illegible]

中村長太郎
出 山川己次郎
出 中村周三
欠 佐野金三郎
浜田清太郎
出 吉水順孝

乙 汎都西田田町住宅地
三 岩株式会社京都支店
浜田創二商店

染織講社

日本標準規格 B4 (257×364mm)

4-5 庶務一件 昭和17年

解嘱御願

私儀

今回三興株式會社本社（大阪）に轉勤仕候に就ては染織講社理事を御解嘱被下度此段御願申上候

昭和十八年一月四日

伊藤太一郎

染織講社會長
篠原英太郎殿

4-5　庶務一件　　昭和17年